

装置名	JAEA-AMS-TONO-5MV
略 称	JAEA-AMS-TONO-5MV
英語名	JAEA-AMS-TONO-5MV
目 的	数万年、数十万年前までの地層の形成年代、地下水の滞留年代や考古学遺物の年代、また大気中の同位体組成の変動など環境科学分野の研究のための炭素やベリリウム、アルミニウム、ヨウ素同位体比の測定を行う。
場 所 (施設管理担当部署及び連絡先)	東濃地科学センター 年代測定技術開発グループ Tel. 0572-53-0211 (代表)
施設の利用研究例	<ul style="list-style-type: none"> ・地層の堆積年代の測定 ・断層活動や火山活動の履歴の測定 ・環境中の炭素同位体濃度の測定 ・考古学遺物の年代測定 など
経 緯	平成9年3月：導入 平成10年9月：炭素同位体比ルーチン測定開始 平成18年10月：施設供用制度による外部利用開始
設備(装置)の概要(能力)	加速器質量分析装置 (National Electrostatics Corporation製15SDH-2) $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 、 $^{14}\text{C}/^{13}\text{C}$ 、 $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比測定 ・最小試料量：グラファイト 1mg ・測定所要時間：1試料あたり約1時間程度 $^{10}\text{Be}/^9\text{Be}$ 比測定 ・最小試料量：酸化ベリリウム 1mg ・測定所要時間：1試料あたり1時間程度 $^{26}\text{Al}/^{27}\text{Al}$ 比測定 ・最小試料量：酸化アルミニウム 2mg ・測定所要時間：1試料あたり1時間程度 $^{129}\text{I}/^{127}\text{I}$ 比測定 ・最小試料量：ヨウ化銀 2mg ・測定所要時間：1試料あたり1.5時間程度 付属 安定同位体比測定装置 (MicroMass社製Optima) : $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比測定 四重極型誘導結合プラズマ質量分析装置 (Agilent technologies製Agilent7700) : ^9Be 定量分析 試料調製室
規制法令	放射線障害防止法、消防法、毒物及び劇物取締法、労働安全衛生法
備 考	https://www.jaea.go.jp/04/tono/tgr/setubi/1.html

